

水 土 里 レ ポ ー ト

投稿月日	令和8年2月26日
タイトル	継立小学校 稲作体験学習
水土里レポーター名	栗山土地改良区 総務課 山崎圭太

令和7年5月19日（月）に継立小学校にて、稲作体験学習最初の授業となる田植え学習が行われ、小学3年生から小学6年生の児童が参加しました。校舎横にある農業者片山肇さんの水田にて行われ、南部耕地出張所など関係機関の方々の協力を得ながら、1時間ほどかけて苗を植えていきました。3年生は初めての稲作体験学習ということで田植えに戸惑う姿も見えましたが、経験者である5年生・6年生から苗の植えを教わりながら楽しく学習していました。



9月9日（火）には稲刈り学習が行われ、田植え学習と同様、小学3年生から小学6年生の児童が参加しました。児童は自分たちが植えた苗の成長を感じながら、稲の刈り取り・運搬・はさがけ作業を分担して行いました。稲の刈り取りやはさがけ作業に関しては、慣れない作業ということもあり苦戦する児童もいましたが、先生や南部耕地出張所職員の指導を受けながら懸命に作業していました。



10月30日（木）には稲作体験学習最後の授業としてお世話になった関係機関の方々を招待し、炊飯学習が行われました。児童が収穫した稲から取れたお米を炊飯し、カレーライスにいただきました。児童たちは今年度の稲作体験学習を振り返りながら、食べ物を作ることの大切さと大変さを学びました。

継立小学校は令和9年度に栗山小学校に統合されるため稲作体験学習は終了を予定されておりますが、今後も栗山土地改良区は農業体験を通して、農作物を作ることの大変さやありがたみを知ってもらえるような活動を行っていきたいと考えております。

